【活動報告】

OSAKA BLUTEON × 枚方寝屋川消防組合

約 900 名の観客と合同避難訓練を実施！

～「世界一安全・安心なアリーナ」の実現を目指して～

令和 8 年 10 月 18 日（日）、パナソニックアリーナにおいて、大阪ブルテオンの運営スタッフとともに、合同で大規模地震の発生を想定した観客参加型の避難訓練を実施しました。

本訓練は、両者の連携協力協定に基づき、地域防災力の向上と、市民が安全・安心にスポーツを楽しめる環境づくりを目的としたものです。



▲観客が避難する様子



▲選手が参加する避難訓練の様子

■ 約 900 名の観客と選手が避難行動を実践

プレシーズンマッチ及び新体制発表会の終了後、約 900 名の観客に加え、大阪ブルテオンの選手も訓練に参加。地震発生時の身の安全の確保から、アリーナスタッフの誘導による屋外避難場所への避難まで、一連の行動を実践しました。

■ 本組合職員と防火防災アンバサダーが啓発

訓練終了後には、消防職員が約 900 名の観客に対し、大規模地震への日頃からの備えや適切な避難行動の重要性について講評しました。続いて、大阪ブルテオンの防火・防災アンバサダーの隊長を務める中村選手からも、観客に向けて防災啓発が行われました。



▲枚方消防署　予防課　辻野主任の講評



▲大阪ブルテオン　中村駿介選手による防災啓発

今後も大阪ブルテオンとの連携を深め、「世界一安全・安心なアリーナ」の実現と地域防災力のさらなる向上に取り組んでいきます。

訓練を終えて ― 本組合職員と大阪ブルテオンの選手で記念撮影



▲本組合職員と選手が一緒に大阪ブルテオンのポーズをした集合写真

ALWAYS TO THE TOP,
ALL WAYS TOGETHER